

平成26年11月30日執行
古賀市長選挙

選挙公報

投票日11月30日
古賀市選挙管理委員会

未来へつなぐまちづくり。
地方創生は古賀市から！

現在46歳。若さと情熱で
古賀の未来のために頑張ります。

未来へ8つの政策ビジョン！

- ① 働く場を創出し、若者が元気に活躍できるまちづくりを実現します。
- ② 『日本一の食のまち』をめざし、古賀の持つ強みを引き出します。
- ③ 『九州一の健康寿命延伸都市』をめざし、健康づくりを推進します。
- ④ 子育て支援、教育環境の更なる充実など次世代育成に力を注ぎます。
- ⑤ 女性、高齢者が活躍できるまちづくりを実現します。
- ⑥ 自然・歴史・文化を活かしたまちの魅力を創出します。
- ⑦ 地域生活の安心、安全の実現と環境保全にとりくみます。
- ⑧ 市役所の仕事力を高め、職員の能力をさらに引き出します。

プロフィール

古賀西小・古賀中・福岡高・早稲田大学卒
古賀市長(現1期)
糟屋地区市町長協議会々長、糟屋地区防犯協会々長



古賀市長候補
たけした
竹下しづお
46歳



古賀市建て直し
中村りゅう象の
10古賀市への
の想い

生涯安心！

- ① 子育て支援
- ② 70歳まで働けるようにする

美しい自然と美しい街並みを育てる！

- ③ 大根川水系に清流を呼び戻す
- ④ 白砂青松の海岸を守る
- ⑤ 景観条例の制定
- ⑥ 資源循環型まちづくりの一層の推進

暮らしを豊かに！

- ⑦ 水道料金を30%値下げ
- ⑧ 農家の収入を上げる
- ⑨ 古賀駅周辺の再開発
- ⑩ 玄望園、インターチェンジ
付近は地理的特性から流通
関係企業の誘致が望ましい

中村りゅう象プロフィール

1948年7月9日生(66歳)
古賀東小学校 卒業
古賀中学校 卒業
修猷館高等学校 卒業(柔道部)
東京大学経済学部 卒業(応援部)
新日本製鐵(株) 勤務
1998年より古賀市長就任(12年)



古賀市長候補
なかむら
中村りゅう象
ぞう

願いを伝える その一票

平成26年11月30日執行
古賀市長選挙

選挙公報

投票日11月30日
古賀市選挙管理委員会



安松 よしひろ

『若者が集まる街作り』

- 一、古賀市の都市構想（まちづくり）と活性化について。
・JR古賀駅周辺の商店街の道路が狭いこと市民の声
区画整理をして、古賀駅周辺を整備したい。
・昔からある工場を、青柳の工場団地周辺に移転し、
その跡地を開発したい。
・高速道路の古賀インター周辺を開発したい。
二、古賀市の財政や種々の環境問題の中で最も
大事と思う事について。
・都市（まちづくり）とすれば地価が上がり税収が
増える。
三、宮地岳線跡地利用について。
・市民の皆様と利用構想計画を立て交渉
します。

古賀市の未来をつくる方程式は、
明るい未来＝現実＝やるべきこと

にぎわいがあり
高福祉で便利で
安心して美しい
住民主体のまち

古賀市経済は急降下
市債は130億円

自ら稼げる
まち
への転換



古賀市長候補
前田 宏三
まへだ こうぞう

やるべきこと
稼げるまちへの転換
資源を活かす、
投資を呼び込む。

市街化調整区域の見直し … 資源を活かす

- ・中心市街地活性化事業、それに伴う土地区画整理事業・インター周辺開発を推進
- ・アウトレットモール等、魅力ある商業施設の誘致
- ・小野・青柳地区の住環境整備
- ・農業の6次産業化支援（販売力強化）

JR古賀駅周辺の再整備 … 投資を呼び込む

- ・駅東西を結ぶ接続道路の実現、駅舎の近代化

子育て支援・介護の社会化 … 女性の活躍支援

願いを伝える その一票

平成26年11月30日執行
古賀市長選挙

選挙公報

投票日11月30日
古賀市選挙管理委員会

将来の安心と安定・信頼へのまちづくり

(1期4年の約束)

子どもからお年寄りまで
活き・生き、まちづくり

活力あるまちづくり

- 実現** ○ 女性副市長を登用し、健康寿命を延ばす取り組みを強化します。
- 実現** ○ 保健師を増員し健康づくりの拠点となる、ヘルスステーションの設置を推進します。
- 実現** ○ コミュニティバスなどを導入し、市民が利用しやすい公共交通網を整備します。
- 実現** ○ 校区コミュニティの拠点整備を進め、市民活動を積極的に支援します。
- 実現** ○ 保育所待機児童ゼロなど、子育てを支援し女性の社会進出を促進します。
- 実現** ○ 障がい者の社会参加を支援し、雇用の確保に努めます。
- 実現** ○ 学校教育における人的配置を確保し、教育環境の充実をはかります。

- 着手** ○ 古賀市の発展に寄与された市内企業の移転先と、関連企業の用地及び新規企業の誘致先として、インター周辺の開発を進めます。
- 着手** ○ JR古賀駅東口の開発による新市街地の形成と、西口商店街の空き店舗対策を進め、賑わいのまちづくりを進めます。
- 着手** ○ 県道清滝古賀線・米多比古賀線の拡幅整備に取り組みます。
- 着手** ○ 農業所得の向上を図るため農産物のブランド化、六次産業化を進め、農業振興・農業への新規参入を促進します。
- 実現** ○ 市長をトップとする「まちづくり戦略会議」を設置し、市政運営のスピード化を図ります。



市長候補

清原てつし

(66歳)



まつしま いわた

松島岩太

古賀が好きです。このまちが私のふるさどです。

古賀の中で汗をかいてきました。商店街で夜市を再開させ、工業団地で食の祭典をおこし、トラックを運転し、テントを建て、会場の草を刈り、机やイスを運んできました。古賀市観光協会を立ち上げ、古賀駅に観光案内所を作り、サービスエリアでは、特産品や農産物の売り子をしました。古賀のプロモーションビデオを作り、毎月発行全戸配布のイベントカレンダーの原稿を寝らずに書いてきました。毎年古賀の子どもたちを沖繩に連れて行き、夢を語ってきました。市議会議員を15年させていただきました。

私は古賀が好きです。その私から見ても、今の古賀市は行き詰っています。3号線から二日市線、インターチェンジを中心に、これからの古賀の夢を描きませんか。

市長選挙に出馬を決意し、議員バッジを外し、古賀の中をくまなく歩いてきました。涙とともにある切実な現実を目の当たりにしてきました。愛情のこもった寄り添えるような政治を行いたい。私に古賀の未来を託してください。

私は、やります。

地域バスの実施

地域を限定し、試験的に地域バスを運行。

お子様プランの策定 実施

赤ちゃんから新社会人まで、総合的な取り組み。

地域福祉員の制度補償

地域福祉員の身分保障、特典・恩恵が得られる制度。

農村部整備計画 策定 実施

農村部インフラ整備計画の10年計画を策定・実施。

地元応援条例を制定

農業者・事業者等の収入向上プログラムの策定。

インターチェンジ周辺の再開発

国道3号線から二日市線エリアの開発を推進。

願いを伝える その一票

平成26年11月30日執行
古賀市長選挙

選挙公報

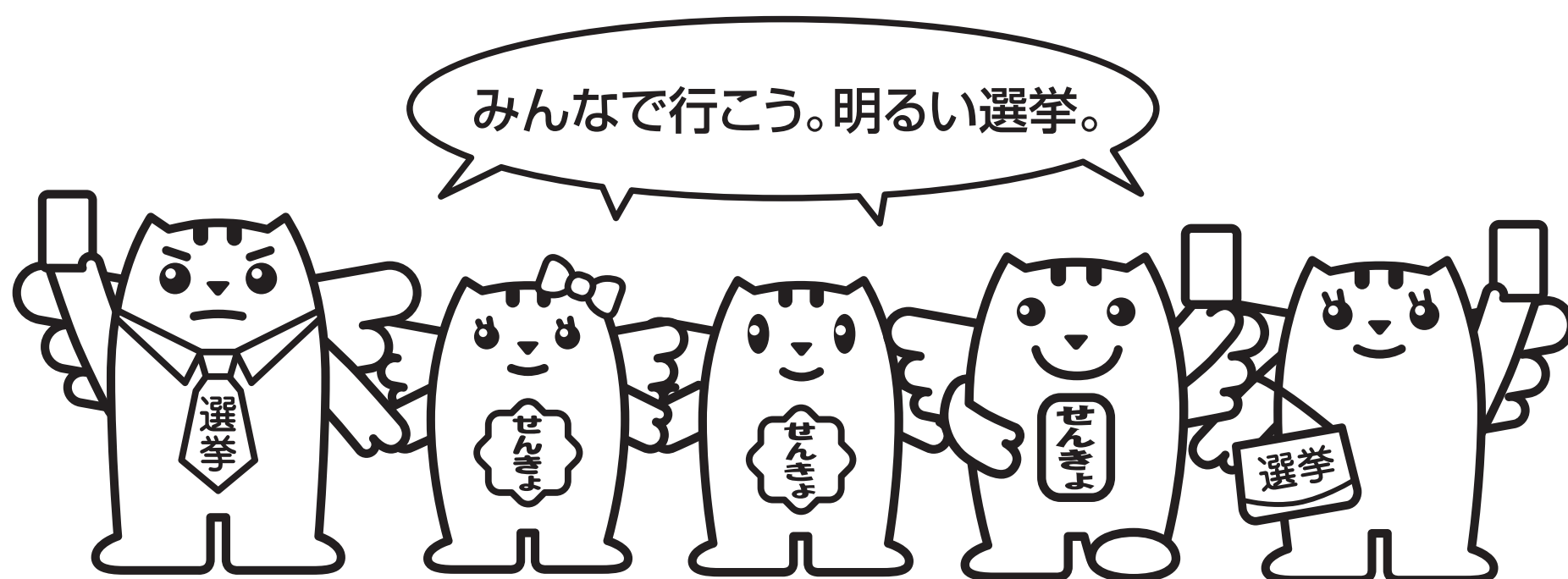
投票日11月30日
古賀市選挙管理委員会

古賀市長選挙

11/30 日 午前 7:00 - 午後 8:00

◆投票日に用事等がある場合は、「期日前投票」ができます。

期日前投票所	期日	時間
市役所第2庁舎2階 中会議室	11/24(月)～29(土)	8:30～20:00



願いを伝える その一票